

2008年1月刊行!

かがわブックレット

A5判64頁

本体価格600円+税

藤田和恵 著

早稲田大学卒。北海道新聞記者(本社社会部、東京支社政経部)をへて、現在、フリーライター。著書に『民営化という名の労働破壊』(06年、大月書店)他。

企画=全国労働組合総連合

「小さな政府」の掛け声のもとに、公務員は減らされ、仕事がパートや民間にまかされていく。だが、その結果、重要書類を未経験者が扱い、保育園や病院では事故が多発する。公務員バッシングは、矛先を変えて国民に向かってはこないか。現状を告発し、展望を語る。

民営化の果てに
公共サービスが崩れてゆく



藤田 和恵

企画 全国労働組合総連合

168 かがわ
ブックレット
KAMOGAWA BOOKLET

公共サービスが崩れてゆく

民営化の果てに

目次

I 霞が関の主力は非正規労働者?

「社会問題化した重要書類が私の手にある」／「国の看板を背負っているけど、私は『物品』」／「国民に迷惑をかけられない。だけど……」

II 「市場化テスト」は何を生み出す?

「小泉さんのせいで私もワーキングプア」／「『お探しの建物は存在しません』となってしまう」／しわ寄せは官僚にはなく末端に

III 崩壊する公共サービス

- 1、病院編 赤字を削るために命を削る
- 2、奨学金編 鳴り響くSOS 低賃金で返還できない
- 3、学校編 不安定な生活 「子どもに自立なんて教えられない」
- 4、保育園編 ベテランが減り、保育士は若年化 子どもへの影響は?

IV 「民」は「官」より優れているか

職業紹介、求人開拓 いずれも「官」が圧勝／手間のかかる正社員採用支援を「民」でやれるのか

V 民営化の未来はバラ色か 郵政職場から

結局、地方が切り捨てられるのか／あるゆうメイトの遺書「もっと働きやすい職場になれば」 正社員と非

正社員 広がりつつある溝

労働組合の立場 小田川義和(全労連事務局長)

「小さな政府」でなく「もう一つの日本」を

かがわ出版

〒602-8119 京都市上京区堀川通出水西入

TEL 075-432-2868 FAX 075-432-2869

http://www.kamogawa.co.jp

info@kamogawa.co.jp